

猶々近年^者節々

申承大慶ニ存候、草物壱つ

返書之印込ニ進候

大屋九右衛門殿便ニ御状

令拝見忝存候、其地

御無事目出度存候此

方替儀無之候、仍

東正寺

遠行ニ候^而残多存候、然^者

大屋九右衛門殿此地永々

逗留ニ候得共彼是取紛

馳走不申残多存候

乍去公方様へ首尾

能御目見相濟候^而

愚老迄満足仕候、扱又

貴殿御息此地御下シ

可被成由忝存候、併

愚老七旬ニ及今日明日も

不被存又ハ公儀難計

候条、遠国へ被下候^而も其

節之首尾不被存候条

必御無用ニ可被成候

圓寿院へも

右之旨申越候、先可申旨

椎茸給候恭存候、尚

期後音之時候、恐惶謹言

増上寺

八月七日 ■■■ (花押)

田中六左衛門殿